

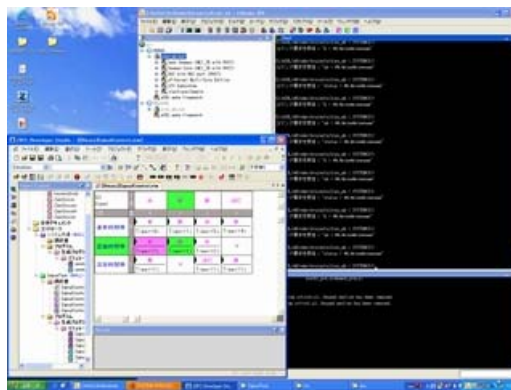
## News Release

2010年5月10日

報道関係者各位

キャッツ株式会社  
イーソル株式会社

イーソルのリアルタイム OS ベースシステム開発スイート「eBinder」と、キャッツの状態遷移表 CASE ツール「ZIPC」が連携。組込みソフトウェア開発の効率化と品質向上を実現  
～ESEC2010にてデモ展示決定！設計から実装、デバッグまでシームレスに開発！～



eBinder と ZIPC の連携の様子

キャッツ株式会社（本社：神奈川県新横浜、代表取締役社長：清成友晴、以下「キャッツ」）とイーソル株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：澤田勉、以下「イーソル」）は、イーソルのリアルタイム OS ベースシステム開発スイート「eBinder」と、キャッツの拡張階層化状態遷移表設計ツール「ZIPC」の連携が実現したことを発表します。「eBinder」と「ZIPC」の連携により、設計から実装、デバッグまでシームレスな開発が可能となり、ソフトウェア開発の効率化と品質の向上を図る事ができます。

昨今、自動車の電子化や、地上波デジタル TV など家電の情報機器化などによって、車載システムや家電に用いられるソフトウェア（組込みソフトウェア）は、より膨大かつ複雑になってきています。そのため、開発の工数が増加するだけでなく、不具合が発生した場合の対応コストも大きな負担となっています。今回の連携によって「eBinder」が持つ強力なコードベースのデバッグ・解析機能に「ZIPC」のモデルベースの解析機能が加わり、モデル上で動きの概要を俯瞰して不具合の発生箇所の“あたり”をつけてから、コードの細部を調査することが可能になります。リアルタイムシステム開発に特化した「eBinder」では、タスク単位、モジュール単位でのデバッグ・解析ができます。両ツールのデバッグ・解析技術の協調により、効率よく不具合を発見、修正することが可能になり、品質の確保と効率化の両方を実現できます。

連携機能は ZIPC のオプションとして 2010 年 7 月にリリースを予定しています。オプションは 1 ライセンス 14.7 万円、年間 20 社での導入を目標とします。

なお、5 月 12 日（水）より東京ビッグサイトで開催される第 13 回組込みシステム開発技術展（ESEC2010）のキャッツブースにて、デモ展示を行います。

▽ESEC 展示詳細：<http://www.zipc.com/event/esec/2010/>

**本リリースに関するお問い合わせ先**

キャッツ株式会社 ソフトウェア事業部 営業部 中島

TEL:045-473-2816 / FAX:045-473-2673 E-Mail : info@zipc.com URL : http://www.zipc.com/

イーソル株式会社 エンベデッドプロダクツ事業部マーケティング部 村上

TEL : 03-5302-1360 / FAX : 03-5302-1361 E-Mail : ep-inq@esol.co.jp URL : http://www.esol.co.jp/embedded/

\*eBinder はイーソル株式会社の登録商標です。\*ZIPC はキャッツ株式会社の登録商標です。\*記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

**<製品概要>**

eBinderについて

eBinder は、T-Kernel、 $\mu$ ITRON をコアとするシステム向けの開発スイートです。従来の T-Kernel/ $\mu$ ITRON ソフトウェア開発に不足していた、優れた開発環境を提供します。リアルタイム OS を使ったシステム開発のためにゼロから設計された開発ツール・機能群を使うことで、リアルタイムシステム特有の問題を容易に解決でき、リアルタイム OS を最大限に活用できます。eBinder には、システムのコンフィギュレーション、ビルド、デバッグから検証までの一連のソフトウェア開発工程カバーする、C/C++コンパイラを含む開発ツール群が含まれます。eBinder は、イーソルの T-Kernel/ $\mu$ ITRON ベースソフトウェアプラットフォーム「eCROS」の一要素として提供されます。

▽ 「eBinder」詳細 <http://www.esol.co.jp/embedded/ebinder.html>

ZIPCについて

キャッツ株式会社の「ZIPC」は、状態遷移表設計を用いた組込み向け CASE ツールです。

状態遷移表エディタで設計・シミュレーションすることによって、仕様のモレ抜けを防ぎます。「ZIPC」はコード自動生成機能も備えており、作成した設計書(状態遷移表)から、MISRA-C 準拠の信頼性の高い C ソースコードを生成可能です。

▽ 「ZIPC」詳細 <http://www.zipc.com/product/zipc/index.html>

**<会社概要>**

イーソル株式会社について

イーソル株式会社は「Inside Solution」をブランドスローガンに、1975 年の創業以来、組込みソフトウェア業界、および流通・物流業界で実績を重ねて参りました。ユビキタス社会を内側から支える技術者集団として、お客様の満足を第一に、開発、販売からサポートまで一貫したサービス、そしてトータルソリューションを提供しております。弊社は創業直後より 30 年以上にわたって、高信頼かつ高性能の組込み OS・開発環境・各種ミドルウェアを自社開発、販売し、デジタルカメラなどの情報家電製品から車載情報機器や人工衛星システムにいたるまで、数多くの組込みシステムに採用いただいています。日本市場のみならず、北米、ヨーロッパ、アジア市場向けに製品・サービスの販売活動を広げています。さらに、顧客様のシステムに特化した組込みアプリケーション開発やコンサルテーションも創業時より行っており、これら様々な規模のシステム開発実績による技術とノウハウの蓄積を背景としたサービスは、多くの顧客企業様より高いご信頼をいただいております。また、組込み技術の応用市場としての流通・物流業界においても、指定伝票発行用車載プリンタ、耐環境ハンディターミナル、冷凍庫ハンディターミナルなどの製品企画および販売を行い、高い評価をいただいております。▽ 「イーソル株式会社」詳細 <http://www.esol.co.jp/>

キャッツ株式会社について

キャッツ株式会社は、リアルタイム制御・組み込み系分野において日本最初の CASE (Computer Aided Software Engineering) ツールとして「拡張階層化状態遷移表設計手法」を支援する同社のフラッグシップ CASE ツール「ZIPC」を世界に先駆けて 1990 年に世の中に送り出して以来、日本国内における CASE ツールベンダーとしてリアルタイム制御・組み込み向けの数々の CASE ツールを提供しております。

キャッツのツールは JEITA/JASA の調査結果にて日本国内のシェア/効果があった技術・ツールとして No1 の実績を持ち、数多くの一般企業をはじめ、大学・先端研究機関との協調により最先端技術を取り入れソフトウェア&システム開発ソリューションを提供する事業を行っております。▽ 「キャッツ株式会社」詳細 <http://www.zipc.com/>